

信州須坂・関谷温泉 湯っ蔵んど 「おもてなしの心とチームワーク」

[サービス業]

日帰り温泉、飲食店運営

代表者名：日本レクシー株式会社

代表取締役 熊原 勝

従業員数：90人（就業場所43人）

創業：平成2年

住所：須坂市大字仁礼7番地

TEL：026-248-6868

事業内容：日帰り温泉施設（管理運営）、飲食店運営

給与：18万～26万

<http://yukkuland.jp/>

長野県最大級の日帰り天然温泉施設「湯（ゆ）っ蔵（くら）んど」は、須坂長野東インターチェンジから車で10分。市民の憩いの場であるのはもちろんのこと県内外からの観光客も気軽に立ち寄れる温泉施設です。緑に囲まれた施設からは美しい北信五岳（妙高山、斑尾山、黒姫山、戸隠山、飯縄山）を望むことができます。また、長野電鉄須坂駅からは直通の路線バスがあるため電車で訪れる観光客や年配者にとっても便利で利用しやすい温泉です。



現在、湯っ蔵んどは長野市に本社をおく日本レクシー株式会社が須坂市から委託を受け運営しています。テーマは「温泉と食」。スタッフは男女合わせて50人ほどで、事務所や食堂、また温泉のボイラー担当など全7か所の担当場所がシフトを組んで業務を行っています。支配人の柳沢哲さんと広報担当の小山智晶さんに話を聞きました。

●日帰り温泉の常識を覆そう！

館内に一步足を踏み入れると、香ばしい焼き立てパンの香りが広がります。毎日約40種類が並ぶ1階

入り口のベーカリーショップは気軽に立ち寄れる人気のコーナーです。

「ひと昔前は日帰り温泉施設で焼き立てパンを提供するなんて本当に可能だろうか？と疑問を唱える時代もありました。今は「常識を覆そう！」を合言葉に、お客様に喜んでいただき感動してもらおうと“温泉と食でおもてなし”を目的に地域の素材を使ったこだわりのパンを提供しています」



吹き抜けの2階フロアには温泉とともに食の売店が並びます。紅白のお洒落なタイル張りのピザ窯は



特に印象的です。ピザやジェラートの他、食堂のメニューも充実していてゆっくりくつろげる広い休憩処もあります。

「本格的な石窯で焼くピザは県内の温泉施設でも当社が初めて試みました。ピザ窯は海外から輸入し、デザインから手掛けた一品ものです。中央に『YUKKULAND』の文字が刻まれています。窯にくべる薪にもこだわっていて香りの良いナラの木を使用しています。月ごとに食のフェアを開催していますが、地域で採れる旬の素材を使ったピザは一押しの商品です」

●地域の農産物を使うことに意義がある

ジェラートはブルーベリーやイチゴ、牛乳、マンゴー、バジルなど多様な素材を使ったメニューが並びます。ブルーベリーやイチゴは須坂市内の農園で栽培されているもので、牛乳と並び一、二を争う人気メニューだそうです。湯っ蔵んどで提供するメニューは全て手作りで、素材は“地産地消”にこだわっています。地域の素材を使うことは活性化に繋がります。町おこしにも貢献できると考えています。調理



スタッフは、野菜や果物の生産農家の思いを大切に作品として仕上げるよう心がけているそうです。

湯っ蔵んどは“温泉と食”を軸に取り組んでいます。地域の名所としても須坂市民が誇れる場所です。



●仲間がいるから出来ること

「毎朝9時に全体の朝礼を行います。部門によっては朝礼前から仕事にとりかかるスタッフもいます。例えば風呂は6時から清掃を行いますし、フロントなど他の部門もシフトで動いているので朝礼の顔ぶれは変わります。朝礼の司会はスタッフが交代で行います。昨日の反省と、それを次にどう活かすか当日の目標を全員の前で言葉にします。朝礼の最後は全員のハイタッチで締めくくります」

仕事をする上で大切な信念や信条を記した“心絵”という名刺サイズのカードを見せてくれました。このカードは、お客様へのおもてなしを常に心がけようとスタッフ全員が携帯しているそうです。心絵は「心に描く想い」の意味で名付けられました。感謝する気持ちやチームワークの重要性など大切な心得が書かれています。朝礼では心得をみんなで唱和するそうです。



「大勢いる職場なので情報を共有する難しさは常に感じています。スタッフが一丸となることが大切なので、目指すテーマや目的をしっかりと伝えることを心がけています。一人ひとりがチームワークを重んじ、みんなで力を合わせることが出来れば良い仕事環境も生まれると思います」柳沢支配人は仲間の重要性について話してくれました。

●地域との関わり～町おこしに貢献を～

湯っ蔵んどの周辺には小学校や保育園、地域の催しを行う公民館、老人が集う温泉付きの交流施設、さらにはデイサービスなどを行う老人福祉施設があります。福祉施設には湯っ蔵んどのお湯を提供しているそうです。スタッフの中には、年老いた親を隣接する老人福祉施設に預けたり、子どもを保育園に預けて出勤する人がいたそうです。働く場所としても便利な地域です。

湯っ蔵んどは地域との関わりを大切にしている、施設を貸出すサービスも行っています。例えば、広い庭を利用したフリーマーケットや館内で作品の展示会、音楽の発表会などです。「町おこしのためにもぜひ施設を利用し地域の活性化に役立ててほしい。多くの人にこの場所を使って楽しんでもらいたい。施設も無料で提供していきたい」と柳沢支配人は話してくれました。

●理想とする仲間像

今年度、新たに加わった3人のスタッフの共通点は「地域の活性化に役立つ仕事がしたい」ということでした。新しい仲間が加わり、さらに笑顔が集まる温泉施設にしたいと話します。

「理想とする人材は、おもてなしの心を持てる人、チームワークを大事にする人です。力を合わせる事ができなければ成果は出せません。性格も素直で前向きな人が理想です」と話してくれました。

湯っ蔵んどは従業員一人ひとりの発想や提案が形になり「やりがい」を持って働ける職場です。

温泉と食でおもてなしをしたい！地域を元気にしたい！という方はぜひ応募してみてくださいか。



(2016年6月インタビュー)